

新建復興支援フォーラム

パネルディスカッション：震災復興はどこまで進んでいるのか
——これからの建築家技術者の役割は——

10月に入って各自治体の復興基本計画が策定され、第三次補正予算も決定されるなど、いよいよ復興に向けて動き出したかのように見えます。しかし、国の財政支援が明確でないことから現地では復興計画の具体化が進んでいないのが実情です。防潮堤、盛り土、高所移転など長期にわたるインフラの整備が必要とされる津波被災地では、それまでの生活と生業をどう維持するかも深刻な課題です。

そこで、第1回の新建復興支援フォーラムでは、震災復興の現状について現地で活動する新建会員の報告を中心にパネルディスカッションを行います。岩手県大船渡市などの復興計画に携わっている佐藤隆雄さん、宮城県内のA町復興計画や県内宅地被害の復興相談に係わっている岩淵善弘さんに基調報告をお願いします。

さらに、今後復興事業が進むなかで専門家である建築家技術者はどのような役割を果たすべきかを、黒田達雄さん、山下千佳さんに加わって頂き議論します。黒田さんは阪神淡路大震災の支援を経験され、今は宮城県での支援活動をされています。山下さんは各地でのボランティア活動の他、新建支援会議事務局で新建会員の活動を支えて来られました。

新建復興支援フォーラムは今後も年2回程度開催し、息長く震災復興とその支援のあり方を考えていきます。今回は時間の関係で岩手と宮城にフォーカスしましたが、次回以降は福島の復興も取り上げて行きます。

日時 11月26日(土) 午後1時～3時15分

場所 横浜市従会館 4階ホール (横浜市西区宮崎町25 TEL 045-241-5866)

パネリスト	佐藤隆雄	東京支部	安全・安心な社会創造研究所 (独)防災科学技術研究所 客員研究員)
(敬称略)			
	岩淵善弘	宮城支部	東北学院大学非常勤講師
	黒田達雄	兵庫支部	黒田達雄建築研究所
	山下千佳	東京支部	住まいとまちづくりコープ
進行	鎌田一夫	千葉支部	住まいの研究所